京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
定價　本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金　五號活字十七字詰一行一回金十錢▲特別廣告五號活字七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太
印刷人　松久勝一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話大三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

東京だより

◎編輯局諸兄
◎近時歐米列強の軍備競爭は、遂に那邊に〔?〕すべきや、之れ世界の識者が一齊に疑惑措かざる所なるが、恐らく列強自身に於ても此謎は不可解に彷徨せること、存候、殊に英國獨逸の二國が世界の各地に有らゆる競爭を演せんとするが如き、邦人の最も注意すべき事にして此二大勢力を如何に利用すべきか、今後邦人の喫緊研究すべき好題目に有之候。
◎英國海軍卿チャーチル氏の演説は流石に大國の態度悠揚として迫らず、大獨の群島を睥睨せるの慨あり、其『英國をして今日の大强國とならしめしは海軍なり』『英國は既に有効に海上權を掌握するに充分なる艦船を建造したれば今日以上更に建造の要なし』『歐洲大陸に於て海軍擴張をなす國あらば吾人は何等の困難なく之れに反抗し得べし』と云へるが如き我國の現狀に見て多大の好教訓を得たるを慶ね候。
◎最後にチャーチル氏は『我國民は第一番に海軍競爭を阻止し、且つ緩和を歡迎すべし、吾人は單に言葉のみを用ゐず行爲を以て斯る競爭の緩和を助けんと欲す』『英國の海軍は國家の存在上必要なれども獨逸の海軍は或點より其件質贅澤にして膨脹的なり』と云ひしが如き近來獨英の軍備競爭が如何に其終局する所なきを看取すべし、而して我國の如きも亦此贅澤的軍備なしとせず、我陸軍の如きそれに候はずや。
◎本月上旬の外國貿易は逆調千百八十五萬圓の巨額を示し候、之れ目下棉花の大輸入期に相當せる結果ならんも、昨年當期九百五十萬圓に比すれば三百三十萬圓の超過にして、近時物質の騰貴は著しく此傾向を誘致せるものゝ如し、物價騰貴の救治策は實に何物を措いても當今の急務に存候。
◎此程より尾張德川家の逋税事件にて大分物議を釀し居候が、華族の脱税者は獨り德川家のみに止まらず候、東京の如き市内に廣大なる家屋を構へ居る華族連、殊に元老と稱する新華族の宅地を調査致し候へば意外なる脱税を發見せらるべし、會計檢査院はこういふ邊にも注意を願度候（黙生）

雜報

果樹栽者に警告

果樹園に於て最も恐るべき害虫たる綿虫の蔓延は釜山近くは倭館に蔓延して今や殆ど救ふべからざるの悲運に陷り近々中伐栽燒却の英斷に出づべしと倭館附近の果樹園の如きは既に結果年に到達し爾後盛んに收益を見るべき年度となりたるものを一朝害虫の發生の爲將に烏有に歸せんとす何たる悲痛事ぞや果樹栽培者たるもの須らく注意周到此の致命傷を未發に防がざるべからず聞くならく倭館地方の綿虫は苗木に依つて移入したるものなりと苗木購入の際一層注意すべきことなり然りと雖此の大敵たる害虫の子卵は肉眼を以て識別することは困難なるが故に假令如何なる苗木たりとも本植時に當つて必ず充分の豫防驅除を勵行すべきを怠るべからず

平凡語　ヤートコ生

◎江戸川は鰻を以て鳴る、客を迎する縮はざる所は大に佳し、然れど時に出來不出來ありて無愛相の弊に陷る事あり、縮はざると無愛相とは自ら別なり同業者が出來てから急に叮嚀にするは愚なり。女中の恬淡大に佳し。
◎アヒ鴨をとの客の注文に眉を顰め、アヒ鴨なんてものは有ませんがニワトリなら御座いますと答へたるも江戸川の女中なり、面白からずや。
◎萬事改良進歩の世の中なり鰻ぢやからとてヌラクラと舊を守つて居ては駄目なり、先づセリンの下敷春慶塗の破れ膳から改良すべきなり。窓に硝子を嵌める程の發奮があるからは。
◎松金は天麩羅を以て鳴る、店二階の建付けの珍なる、此も改良ものなり。頃日來材料の無きを喞ちつゝ白魚、穴子で油を煮立たせて居るが此こそ惡い量見と申す者なり、釜山からでも下ノ關からでも、鐵道と云ふ便利なものがある世の中なり。
◎官衙に受付なるものと給仕なるものとあり、人間放れのした横柄の者多きを以て鳴る。他の馬鹿にせんことを恐れて先づ自ら强うするなり。中にも裁判所の夫れと陸海軍の夫れより甚だしきは無しと、理由を問へば兩者他を見る悉く罪人、後者は時代後れの士農工商主義からなりと。
◎總督府内の賄室の入口に貼札あり曰く『給仕に限り一切現金の事たるべし會計局長伯爵兒玉秀雄』と貸せば給料を皆食うと覺へたり。

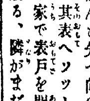
外事一束

▲英國　陸相訪獨して和解的使命を果さんとするも海相がグラスゴーに於るの言句中獨海軍は贅沢物なりとあり痛く獨逸國民の感情を害せりと
▲演說
▲今秋　英帝皇后兩陛下の獨逸訪問は確定議なるも獨帝の英訪問は未定なり
▲英獨　目下の關係は何等確定せる條約の締結軍備問題の提携模樣なしと云ふ
▲墨國　シアレス市革軍の掌中に陷り官軍は其の占領に努め五百の兵を派す
▲南部　濠洲上下兩院議員總選擧の結果自由黨の勝利に歸し自然內閣交迭す
▲西國　セウイル地方大洪水起り饑饉に惱む者數千人家屋流失損害頗る多し
▲回教　徒の黑人軍隊トリポリ到着は亞拉比亞人統制上利益なりと希望さる

梁川庄八　小金井蘆洲演

第百五回

其譯如何と云ふと奈良の町に、鍋屋清兵衛、雉子屋兵助と云ふ旅籠屋がある。兩方共兄たり難し弟たり難しと云ふ勢ひ、鍋屋清兵衛と云ふが鍋屋の出世繁昌を嫉むの餘り、雉子屋の評判の仲居た山と云ふ女を、たいで〳〵兵助が證據が揚つたから、非常に立腹して、同營業者にあるまじき事だと云ふので、旅籠屋仲間の參會の席で鍋屋清兵衛を談じました、固より罪があるのですから、只管詫事をした上に、詫證文まで取られた、小人の常態として此事を深く根にして、雉子屋を怨んで、折こそあれ此恨を晴らしてくれん汝れ雉子屋闇の夜も十五日と云ふ比喩がある覺へて居れと口にこそ出しませんが腹の中では事あれかしと、始終窺つて居りました、元來此奈良の町には早起きの習慣がござります、夫は何だと云ふと、早朝より奈良町奉行の手代が町方を巡檢して歩行きますと云ふのは、春日明神樣の御使者の鹿が往來中に斃れて居る事もあり、或は態と鹿を殺して遺恨のある家の軒下へ、其鹿の死骸を投込んで置かぬとも限らぬ、大切な鹿が横死を遂ることとありては、第一明神樣へ對して相濟まぬ譯、そこで檢使の役人が早朝から檢使に出掛るのでございます、然うして何屋何兵衞の軒下に鹿が斃れて居ると云へば、其家が懸合となつて、先づ差當つて稼業を休まねばなりませんのは勿論の事、吟味の末全く自分が殺さんに致せ、鹿を軒下に捨てられて知らんで居ると云ふのは、平素不行屆であるからと云ふ件を以て、鹿殺しの神案を仰付けらるゝのが常でございます、まあ身代の半分位は棒に振つて了はなければならぬ……其檢視の役人の廻つて來ない中に早く起きて鹿が何處の家の軒下に死んで居ても町内の者が申合せて其鹿を隱して仕舞ふと云ふ申合規則が内々拵へてあります、それ故世間よりか奈良町の者は早く起きる習慣があるのでございます、先づ朝起きて表戸をがらりと開けると鹿が斃れて居る『オイ是はいかんと先づ向の家がまだ起きないから、其表へツット持て行て置てくる、向の家で表戸を開けて見ると鹿が死んで居る、隣がまだ開いて居ないから持て行つて置てこやうとする途端に戸を開けて△『冗談をしちやあいけない▲『ハー……習慣になつて皆々早起きだ、或日鍋屋清兵衛が例の如く、早く起きがらりと門口を開いて見ると、我家の軒下に鹿が一匹倒れて居る、寢て居るのか知らんと思つて叱々と追て見たが起きもせぬ、能く〳〵見れば死んで居るのですから『鍋弱目に祟目泣面に蜂と云ふ比喩があるが、忌々しい畜生だ、宜い鹽梅にた役人が廻つて來ないから、其筋の人の目に止らぬ中に隱して了はなければならぬ、幸ひ近所の者もまだ起きて居ないし、奉公人も起きてないから何處かへ隱さうと其鹿を裏口へずる〳〵引張込んで空地へ押やうと思ふ途端に奉公人が眼を覺して、各自に裏口へ小便に出て來る樣子であるから、知られては一大事と酒藏の鹿の脊中に掛けて漸く取廻した途端に表から一匹の鹿が飛込んで來たかと思うと、其儘垣根を飛越して裏の山手の方へ逃げて了つた、表の方に當つて何やらがや〳〵騷しい聲が爲るから、何事ならんと鍋屋が表の方を指して行く、表には雉子屋の悴の兵吉と申す小僧が手に一本の丸竹を以て、鍋屋の内を覗いて居て、其側に近處の年寄達が二三人寄つて『兵吉何だつて貴樣は明神樣の鹿を追蒐けて來た兵『乃公が今朝早く起きて、お師匠樣に行かうとすると、横町から鹿が飛んで來たから身を換さうとする途端に乃公がお辨當を落して毀して了つたから、此丸竹で打撲つたら鹿が彼方へ逃げ、此方へ逃げる其後を追廻して、もう一つ撲せやうとすると鹿めが鍋屋の家へ逃込んだから出て來るのを待て居るのだ『年『手前此國の生抜きであるに何故そんな無法な事を爲るのだ、明神樣のお使者の鹿を何と心得て居る、昔から鹿を殺したことが露顯すれば石子詰のお處刑に遇ふぞ、そんな眞似してお役人に見付かつたら如何する小供とて容赦はならんぞと、小言を云て居る處へ鍋屋清兵衛が出て來ました、



東京電報

▲西藏人心動搖 北京發 某所着電に依れば淸帝退位發表後西藏の人心動搖甚しく多數の官憲は西藏人の爲めに慘殺されたりと

▲袁米人顧問排斥 陸軍省着電に依れば袁世凱は孫逸仙に對し米國陸軍參謀官ホーマーリー將軍を我共和政顧問と爲す事に絕對に不贊成なりと打電せり

▲民國承認問題 日向質問 日向輝武氏は共和政府承認問題に關し質問したるに石井外務次官は答辯して曰く今日に至る迄新政府を承認すべきや否や決し居らず最も日本の支那に關する關係は大に列國と異なる點あるも今回の事件に就ては日本の行動は事毎に列國と其步調を一にし列國に先んじて事を處するは不利なりと認め居れるが故新政府承認の如きも亦列國に先じて爲さゞる方針なりと答へ日向氏は更に質問し今後如何なる事件存在するも列國に先んずる事非るや責任を以て答辯されたしと追及せしに石井次官は聊か狼狽の氣味ありしが兎に角今日迄の方針は如此と述べたり

南京特電

▲袁大統領を辭す 南京の參議院は袁世凱を大統領に選擧し速に南京に來て宣政式を行ふべく請求せしに袁世凱は其重任に堪へず別に賢良を擧げられたしとて辭任す

▲袁大統領當選 南京參議院は十五日大中華民國大統領の選擧を行ひたるに多少の議論ありたるも結局袁世凱當選せり

▲當選と通告す 南京參議院に於て袁世凱を大統領に選擧したるを以て孫は十六日其旨袁に通告したり

雜報

●私立學校現狀 朝鮮に於ける私立學校の總數は先頃迄約二千校ありしが維持の困難なる爲め近來は約千八百校となり內外國人の經營し又は關係せる宗教學校約七百校あり外に公立普通學校は目下のところ二百三十四校なるも來年度よりは百十一校を增設の筈なり而して當局者が私立學校に對する取締の狀況は其屆出を待つて認可し教科書の撰擇等も勝手に採用するを許さず又宗教學校の中には隨分不逞の徒を出す者多きを以て嚴重の取締を爲すの要ありと

●各道長官會議 開期 來る四月一日よりは改正官制の實施に伴ひ各道の事務官道書記及郡吏等の新赴任者と內務部及財務部長等にも多少の移動あるべきに付き寺內總督は此際地方行政に關し親しく諮問し訓示を爲すの要あるに付き四月末迄を以て各道長官會議を開催することに決定したりと云ふ

●一月末の爲替貯金現狀 一月末に於ける京城爲替貯金管理所の調査によれば內地へ過超金として納付したるもの九十七萬五千九百圓又內地より爲替資金として受入れたるもの六萬九千五百圓にして差引內地へ送金九十一萬四百圓となるが之を前年の同月に比すれば約二割七分六厘前月末に比すれば五分三厘の何れも減額せりと云ふ

●鮮銀利子引上と各銀行 朝鮮銀行にては日本銀行と均衡を保つ上に於て來る三月一日より金利の引上げを實行することに內議略々熟したることは既報の如くなるが夫れに就き市內各銀行業者側に於ては元來朝鮮に於ける銀行金利は其の當初內地も朝鮮も同一なりしものが中頃に至り朝鮮側の金利高率なるに至り這回再び內地朝鮮共に同一の利率となりたるものなるに日本銀行の金利引上げと共に朝鮮銀行に於ても亦之れが引上げを行ふは折角均衡を保つに至りたる內地朝鮮の金利狀態を變じて又々朝鮮の金利を高率ならしむる觀あれど朝鮮銀行が斯の如き內議を行ふに至りたるは或は內地朝鮮間の利率同一なるに於ては內地資本家等が朝鮮銀行に對する預金引出を恐れ之が防禦策に出でたるにはあらざるか兎に角朝鮮銀行にして金利を引上ぐるに於ては普通銀行業者にとりては其の貸出は兎に角預金に於ては是非其の金利引上げを行はざるべからざるの事情あり近く同業者集會を開き朝鮮銀行と共に金利引上げを行ふに至るべし

●教員轉任問題解決 龍山小學校長淵上某の轉任問題は爾來當京城民會の問題として民團側に於て考究せられ調査委員を設けて之が眞相を究むる事となり其結果高橋、大村(百)の兩議員は昨十六日檜垣道長官と會見し其意見を求めたる事は既報の如くにして今其の內容に就き聞くが儘を摘記すれば從來教員轉任に關しては一應民團當事者の意見を徵し其上申に基き行ひ來りたる慣例なるに今回淵上某の轉任に限り何等の交涉なく其職權を楯とし決行せられたるが將來と雖も獨斷專行の意なるや否將又從來の如く一應民團側の意見を徵し然る上行はるべきものなるや如何若し然らずとせば當民團經費の大半たる十六萬圓を費せる教育費のみを負擔し併も其教員の任免に付ては獨り道長官の權限なりとせば之れ民團側の忍ぶ可からざる苦痛なれば之れが善後の策として民團所管の各學校を私立と爲し以て民團より經費を補給し任免の權を民間に收むるに如かずと述べ檜垣長官は之れに答へ決して從來の慣例を破るの意に非ざるも獨り淵上某轉任に就ては行政の都合上止むを得ざる次第の爲め何等の交涉をも爲さゞりしものにて此點に就ては篤と御諒察を乞ふと述べ尙將來は必ず民團側の意見を徵し其上申を俟て行ふべければ私立學校云々の如きは成るべく穩便に圓滿なる解決を望むと述べ委員側に於ても其意を諒とし談笑の間に會見を終れりと云ふ

●熊本縣の朝鮮移民 熊本縣農會の保護監督の下に同縣より朝鮮全羅北道金堤に移住する移民約八十名は來月一日甲斐某氏の引率にて渡鮮の途に就く筈なり

●府尹郡守會議終了 連日開會中なりし京畿道廳府尹郡守會議は十七日午前中は將來事項の殘部に就き協議し午後中學校敷地內にある土木に關する模型を縱覽し茲に愈會議を終り散會せり

●一月中輸入鹽 一月中に於ける輸入鹽は總計三百四十九萬六千七百八十七斤にして此鑑定價格一萬六千八百八十五圓廿六錢なるが其輸入の內譯は臺鹽二百八十五萬八千三百餘斤關東州鹽三十八萬二千四百四十餘斤淸國山東鹽僅々二十一萬六千餘斤なり從來輸入鹽の大宗たりし淸國よりの輸入減じたるは寒中には結氷のためジヤンクの航海なきによるものにして臺灣鹽は悉く三井物產の手を經たるものなりと云ふ

●四十四年度殘工事 總督府營繕課に屬する四十四年度の建築工事は殆んど大部分を終了し目下殘工事と見るべきは僅かに總計二萬圓餘に過ぎずと云ふ

●韓海漁業會社改革說 長崎縣知事安藤謙介氏が社長たりし韓海漁業株式會社は氏在職中熱心鋭意の結果日本海地方に於ける元山、淸津地方韓海漁業稍々其緖に就き前途一道の光明を認めんとする折柄氏は拔れて長崎縣知事に任用されたる爲め其職を辭し以前法曹界に驍名を轟かしたる檢事堀田正忠氏其後を襲ひ專ら會社の經營に當りつゝあるが如何せん什麽頭腦明晰に手腕敏なるも全く經驗なき所謂門外漢なる結果流石の敏腕も施す術なく爲めに折角曙光を認めたる會社事業も兎もすれば退步せんとするの懼ひあるより一部株主間に在つては此の場合適當の人材を選び一新局面を展開すべしとの議唱道されつゝありと蓋し聞くが如くんば同社の實權は佐竹作太郎氏の掌中に在りて堀田氏は所謂名義上の社長に過ぎずとの事なれば全然同社の面目を一新せんとせば勢ひ佐竹作太郎氏の實權を收めて株主全部の手中に握るにあらずんば不可能なる次第なるが一般株主に於て果して其勇氣あるべきや否やは疑問なると同時に恐らくは事容易ならざるべしとは少數株主等の私に憤慨しつゝある所なり今後の同社こそ注目に値すべし

●卵形炭製造所計畫 平壤の松井民次郎氏等の經營に係る卵形炭製造所は四十二年十月平壤鑛業所と特約を結び當時鑛業所より器械迄も借受けて盛んに製造に從事したるも最初の年は營行捗々しからざりしが其の後重もに洋室の暖爐用として歡迎され年を追ふに從つて盛況を呈し加へて昨年一月頃よりは製造地及其の附近の地方よりも專ら京仁の間に歡迎され其の供給高も少なからざるふ以て松井氏は此際製造所を京城に移さんの計畫を立て既に之れが工場の設計をなし近々の內より工事に着手する由なるが開始の曉は從來の如く運搬上原形を毀損するが如きことなく價格も低廉となるべしといふ

●魚菜市場新設計畫 古城菅堂同梅澤氏等發起となり明治町一丁目元淨土宗開敎院跡に大規模の魚菜市場を新設せんとて目下附近の住民に對し其の承諾を求めをれるが右設計に依れば漢城病院と塀一重にて明治町より旭町に貫通せしめ双方より出入せしむる筈なりと愈々開設の曉は市民の利便此上なかるべし

●兩魚市場合同 京城水產市場及日の丸市場は愈々來る十九日合同營業を開始する事に協定成りたるを以て十八日午後兩市場仲買人六十餘名を招待し盛んなる慰勞宴會を催ふ筈なり

●侍從武官の出發 西鮮の巡視を了へて十六日入京せられたる奧村侍從武官は豫定の如く十七日午前九時三十分南大門發列車にて南鮮へ向け出發せられたり

●宇佐美長官の訓示 宇佐美內務部長官は十六日午後四時より司法部樓上に目下府尹郡守會議に列席の爲め滯京中の京畿道二府三十六郡守を召集し地方行政執行に關し訓示したり

●會議所の選擧人名簿 京城日本人商業會議所にては來る六月半數議員改選に就き同會議所にては準備のため有權者名簿の作成に着手しつゝありといふ

●水產會社證據金拂込 京城水產會社の設立に就ては既記の如くなるが十五日を以て會社總資本金十萬圓(二千株)に對する證據金の拂込を了せりと云ふ

●商議課金の不納者 京城朝鮮人商業會議所現今の會員は二千名なるも實際正確に課金を納むるものは五百名內外なるを以て之れが維持上極めて困難を感じつゝありといふ

●居場問題未回答 京城民團にては昨今四十五年度の豫算編成中なるが居場經營問題に就き未だ當局より何等の回答に接せざるを以て之れが收支を明にするを得ず依つて兩三日の中に又々督促すべしといふ

●書畫展覽會の開催 山口書記長近藤佐五郎氏等發起となり十八日午前十時より京城日本人商業會議所樓上に於て書畫展覽會を開催する由なり

●大島聯隊長の歸隊 奧村侍從武官開城慰問に就き同地出張中なりし大島聯隊長は十六日歸隊せり

●藥師川隊長の歸任 開城出張中なりし京畿道警務部長藥師川中佐は十六日午後二時八分南大門驛着列車にて歸任せり

●黑石憲兵隊副官出務 病氣療養中なりし京畿道憲兵隊副官黑石中尉は十七日より出勤せり

●石塚家の不幸 去る一月三十一日誕生せる石塚長官息子崇氏(生後十七日目)は消化不良の爲め十六日午後九時四十分逝去せられたり

●仁川民長の師團長見舞 岩崎仁川民長は松永中將の病氣危篤の報に接するや十六日來龍見舞の爲同邸訪問即日歸仁したりと

●仁川倶樂部の例會 仁川倶樂部會員は來る二十日午後六時半より同倶樂部樓上に於て例會を開き席上朝鮮銀行仁川支店長橫山直追氏の金融に關する有益なる講話ある筈なり

●咸南の明太漁況 咸境南道洪原の沿海に於ける今期の明太魚漁は成績良く漁獲高が一萬八千駄に上りたり一駄の相場は同郡三湖に於て十圓其他の地方に於て二十圓位なりと云ふ

●村田憲兵大尉の招宴 京城憲兵第二分隊長村田大尉は十七日午後關係諸官憲を白水樓に招宴す

●京城專修學校卒業式 京城專修學校にては來る三月二十五日頃同校々堂に於て第一期卒業約三十名に對し卒業證書授與式を擧行すべしと

●松永中將容態 松永中將の容態は十六日と異ならず十六日より二回注射を行ひたるも依然として昏睡狀態にあり唯今の所にては甚だ憂ふべきとの事なり

●松永夫人の消息 松永中將危篤の急電に接し十五日仙臺を發したる松永富子夫人並に令息仙吉氏は十七日馬關發連絡船にて豫定の通り十八日午後八時四十分着龍すべし

●鈴木警部の榮遷 警務總監部高等警察課勤務の鈴木警部は十六日朝鮮總督府試補に任ぜられたり

●工業傳習所入學生 今回朝鮮總督府工業傳習所に入學を許可されたる人員は總計九十二名にして染織科二十六名陶工科十五名金工科十七名木工科十八名應用化學科十六名なりと云ふ

●民國の新國旗揭揚 當地中華民國總領事馬廷亮氏は曩に東京公使館よりの訓電に基き仁川、釜山、元山、新義州鎭南浦の各領事館に通牒を發して十八日(中華民國一月一日)より中華民國の新國旗を揭揚することゝなり居りしが同時に一般居留民も揭揚すべしと云ふ

●中華民國商務總會 十八日開會の筈なりし民國商務總會は都合により休會すと云ふ

●中華民國の御用納 中華民國東京公使館及當地總領事館にては十七日を以て御用納めとし十八日より一週間休暇

●半島鑛業振興上の意見(十一)

▲田村義次郎氏談 朝鮮鑛業振興策に就ては別に之れといつて研究もして居らず又具体的の感想もないが強ひてどあらば自分が從來見聞した丈の觀象を述べやう、敢て振興否と銘打つ程の意見ではない、サテ鑛業を振興させやうとするには何よりも富の力が肝心だ敢て朝鮮といはず日本の鑛業が外國のソレと比較して幼稚の境にあるは一に富の力即ち偉大なる資本家がない爲めである夫れに又日本の富豪は大抵は先祖代々の遺產を繼承し且つ一代分限者に乏しいので思ひ切つて一か八かの投機的事業たる鑛山業などに資本を卸すものは至つて少ない之れに反して泰西の人は日本人に比して資本を有することの夥しく加へて一代分限者が多い爲めヨシンバ自分一代の間に其の資本全部を蕩盡しない迄も或る部分を棒に振る覺悟で掛るから勢ひ事がテキパキと運び事業の勃興するのも無理はない夫れに今一ツは什うも日本の鑛業家は槪して品性が下劣で所謂鑛山屋氣質といふ惡い弊がある、此の弊や各自が其の所有せる鑛山に依つて相當の利純を見ると其の利純は殆んど全部奢侈遊蕩の資に充たされて毫も其の利純を事業の上に放下するやうなことはなく又其の觀念もない否な寧ろ奢侈遊蕩を敢てなすを以て一種の誇りとして居る要するに是等のことは從來に於ける鑛業不振の一大原因ではあるまいかソレは扨て叙上の如く日本の資本家が鑛業經營に就て資本を放下せぬとして見れば什ういふ方法の下に經營するかといふと之れは什うあつても事業家にして資本家たる其の人が自身經營するより他に方法はあるまい夫れに普通の資本家なるものは一旦資本を放下した以上は其の資本を毎日缺かさずに降つても照つても平均に回收せんことを望むものであるから特殊の資本家を除いては却々鑛山杯に放資するものではない、といふと朝鮮の鑛山經營は現今のところでは宛るで絕望のやうに聞ゆるが決してソウではない朝鮮は種々の鑛物に富んで居るから經營其の宜しきを得ば必ず開發の步を進むることは言ふ迄もないが要するに問題は第一には富の力と第二には技工の妙にありだ夫れには又政府の補助も必要であるが唯空漠と補助といつたところで餘程其の方法にして宜しきを得ぬと却つて弊害を釀すことになる而して更に朝鮮には徒らに鑛山の權利のみを持つて居つて容易に着手しない所謂空權屋なるものが大分あるが之等は眞の事業家の爲めに其の經營を沮害するものであるから是等の所謂空權屋に對しては重税を課することにしては什うか、ソレはソウと近時內地の三井、三菱、藤田組などいふ大資本家が朝鮮の鑛業に着目し着々として經營の步を進めて居る樣子だが之等の大資本家にして卒先之れが經營に從事しなば鑛業の開發は將來大に見るべきものがあるだらう、斯く述べ來つたものゝ一も鑛業の振興に就ての具体的の策のないのは極めて遺憾に思ふ次第である云々。

公人私人

▲松永達二郎(實業家)十七日夜發別府、溫泉行

▲武田卓爾(報知新聞特派員)十六日夜發東上

▲臼井忠三(建築技師)長崎行

▲內藤順太郎(報知新聞記者)浦尾へ

▲茶役▼ 京城民團の居場經營問題は其の後杳として消息を聞かぬが一体什うした譯か、民團當局に訊すと未だ其の筋よりの回答に接しないといふが果して事實とすれば所謂其の筋の詮議なるものも隨分と悠長なものだ▲尤も御役所の仕事といふものは大抵這んなものだが、行政整理の曉は萬事簡捷に運んで貰ひたい▲朝鮮貴族尹致昊は或る重大事件で過日其の筋に引致されたさうな、ところで其の重要事件とは什ういふ性質の事件か容易に揣摩することは出來ないが要するに渠れは平素から非常に評判の如くないことは誰れでも知つて居る▲現に內地人の某々の如きは渠れが老猾にして陰險なる手段に乘せられ散々酷い目に遭つたといふ話しだ、而も當人はクリスチヤンだなど、澄まし込んで居るが這ふいふ輩は貴族の面汚しで人間の風上に置けぬ代物だから社會上一日も早く葬つて了ふがよい。

●連載物本日休載

●東拓會社の白蟻

▽某醜聞く危し

西小門を通行するほどの人は本町前に廣大なる空地（昨年迄は畠であつた）の在る事を認めたるであらう、持主は外人であつた、而して又其内に一軒だけヨコンと鮮人家屋が殘つて居る事も認めであらう、之れを東洋拓殖會社が買入れたと云ふ事を聞くと間もなく土塀を初めて壹十三尺に達する所もある、常に非の絶えぬ東拓の御普請とし

傍若無人

の所爲たる、東拓は何にするのかと探つて見ると重役の舍宅二棟を造る爲め……

地約二百坪を買收し二月中に立退を契約せりと云ふ事實は如何、買入れた土地の値段が不明なりと云ふ、**無責任**は如何、建築設計すら出來せずして長方形の地盤を成す慕迦もなかるべしと此れ如何、立退きを迫りて雜作費等の代價を求められるに對し**不法**に取外して持ち去れよと云ひたる事は冬期中人夫賃の安い時を利用して準備行爲なりと云ふを如何、夫れ既に然るものにあらざるべく今や分明し居らざる可らず然るに何人の住居とせんとす非行を爲すにあらざるより鬧く緘口の必要を認めす、人夫賃の安きを利用して

經濟家振る所

へば如何、冬期人夫賃の安きは何故に安きやを、實に認めなり、此の見易き理だに通ぜざる重役を擲ける東拓の前途は見い哉

●獅子身中の虫（二）

▽横領した金で紳士面

四十一年五月支店開設以來四十四年二月に至る間に於て店主彌三郎（京城灰岩町居住）が遠隔の地に在り僅かに年に一二回出張し來るに過ぎざれば充分の監督をなす能はざるを奇貨とし店金を擅に使用して土地家屋等を買ひ入れ其金額七千餘圓に達し之れを店金より借金したる譯となれるも此中七百餘圓は全く彼が費ひたるものなり而して店金費消のみならず發覺したりツハ古屋等の土地家屋は大阪の彌三郎の名儀となり居りしを何時しか彌三郎ノ名儀を擔保として朝鮮銀行支店より千二百圓を借入れしより斯かる事のあるを知らぬ彌三郎等に對し銀行よりも元利金の返濟を迫り遂に競賣に附し而かも長谷川と協して自身が競落せんとし依つて競賣進行停止を求め初田支店にては是れが爲め長谷川を相手取り詐僞取財の告訴を提起したるが敗殘の身實兄の情に依り小雜貨店を開き辛うじて居たる長谷川が彌三郎に認められて一躍初田支店主任となり何不自由なく日を送れる身となりしが彼れは従兄に當る而かも斯かる恩を受けたる彌三郎の眼を掠め巧妙なる手段を以て店金を瞞着し現在にては三萬餘圓の資產と古市町裏山の現住所附近に三千坪に近き地所並びに彼れが昨年二月解雇されたる後建築したる三十餘軒の貸家を有するに至れり而して該土地は初田支店が買ひ取りたるもの丶如く帳簿上に記しあるも所有權は長谷川の手に歸しあるなり帳簿上には朝鮮人より千五百坪を買ひ入れたるものなるが現在所有する處は三千坪にして是れに就ては奇怪なる風聞あり即はち地續きなる山地は一面に鮮人墓地が散在しありたるを彼れは愚蒙なる鮮人々夫を使役して一個所の墓地を掘り崩したる者に對し五十錢を與ふる約束にて墓地を開拓して買ひ入れ當時に倍する土地を手に入るゝに至れるものなりと而して是の問題に關しては四十三年三月頃官有地を横領最中西部署より其命に依りて中止することゝなれり此の際人夫に與へたる墓一個所に對する掘崩し賃五十錢は是れ亦明らかに帳簿に記入しあることを後日に至りて店主が發見したるなり西部署の命に依りて掘崩しを中止すると同時に土地調査局より調査の爲め局員出張したるも如何なる理由か横領したる官有地の没取を免かれて該土地に關する問題は立ち消の姿となりたるなり更に昨年四五月頃京城居留民團役所よりも吏員出張し調査に着手したるが調査の結果は有耶無耶の裡に葬られたりと傳へらるる事實果して眞ならば奇怪至極の事と云べし（終）

本記事に就き長谷川和三郎は多田信托所主多田千春氏と同道本社を訪問し辯明する所ありたれば明後日の紙上に掲ぐべし

●若島座一行の美擧　仁川面議所幹事森丸太郎氏外二名は仁川歌舞伎座興行中の若島座一行と同郷の好を以て今回同一行に對し引幕一張寄贈したるを以て同一座は之れが御禮として來る十九日興行の揚高全部を仁川に於ける公共事業費の内へ寄付する筈なりと

●飛んで火に入る　龍山漢江通り請負業間組小村信太郎方同居鳶職岐阜縣人小島小三郎事鷲見松五郎（三三）は十五日午後七時頃太平町一丁目客主業朴容九方に宿泊し同家の客引朴容三（二三）に花札を買ひ求めさせ翌日午前十一時頃より朴容三及び朴秉吉（二三）の三名にて賭博を始めしが結局鷲見が三圓七十錢の負けとなりたれば腹立紛れに朴容三の一圓三十錢入の財布を奪ひ取りたるより兩人大立廻りの末午後七時頃南大門派出所に訴へ出で愚かにも一伍一什を物語りたれば直ぐ様南部に引致され鷲見は罰金十圓朴容三朴秉吉の兩人は各笞四十に處せらる

●仁川のクツ　龍山のクツ　京城南大門外宗谷五統二戸鄭入鉉（三五）は去十日午後七時四十分頃仁川桃山町小西とよ方にて短靴一足を窃取し取押られ十六日檢事局送り▲十六日午後十時頃龍山元町二丁目印刷局製紙部朴聖春方へ京城東部二部統戸不明の申戸河（一八）が同人方の店頭に無人なるに乘じて店前にありし短靴六點を窃取して逃走之を元町三丁目古物商趙智方へ賣り込まんと和御中巡回中の龍山署の巡査に不審に思はれ直ちに捕はれ引致せられたり

●柴一駄を盗む　水原郡音樂面東安洞農業鄭千（四三）は京畿道楊州郡西宅柴商李萬甫（三五）と二月十一日同件して京城へ商ひに來たりしに李萬が京城鐘路町二丁目十三番戸田川常吉方前に柴一駄を馬に背負はせ繋ぎ居り一寸他處せし際に鄭千は自分の物の如うに其儘前記の田川に賣飛ばし價格一圓五十錢餘を横領し遁げ居りしを西大門分署の手に取押られたり

●犬人を咬む　十六日午前十時頃龍山元町二丁目林藥種店裏の道路に於て明阪粂力の犬が櫻町百五十番戸山田六治に突然咬み付き足部に少しく傷を負はせたるより龍山署より署員直ちに出張檢分したるに狂犬にはあらざりしと

●六十四錢の泥棒　全羅南道濟州島生れ洪紋率（十八）は京城青坡三契三十七統十戸高致公の宅にて二月十六日午後四時頃財布入りの現金六十四錢を窃取し逃走中を青坡巡査派出所の巡査補に取押へられ西大門分署に送致し尚餘罪を詮議中なり

●人妻に戯る　仁川府内面沓洞孫命叙（三〇）は十日午後五時頃醉町の上同所龍南景方に行き主の不在に乘じ妻の金氏に揶揄ひたる後亂暴を働き打撲傷を負はしめし騒ぎに直ちに訴られ十六日仁川署にて笞四十に處せらる

●賭金各十圓　十六日午後一時半頃旭町二丁目八十八番戸煉瓦職小野善藏（四六）方に於て相生町二十四番戸菓子職可部角太郎（三〇）旭町二丁目用達業小田末松（四三）及び前記小野方同居大工今井喜作（四一）の四名が勝負の眞最中南部の手に捕はれ各罰金十圓宛に處せらる

●五雲會例會　十八日午後一時より壽町有明樓にて例會開會番組左の如し　竹生島（山崎氏、ツ齋藤氏、見島氏）瓶（毛利氏、平島氏）羽法師（水越氏、植木氏）小袖曾我（野村氏、ツ吉住氏、ト部島氏、ツ武川氏）小鍛治（有賀氏、ツ田淵氏、島田氏）外に仕舞、囃子數番

●濟生院内の小火　二月十七日午前八時過京城盤松坊濟生院内温突炊事場より失火し院内生徒及び巡査補等駈付け即時消止め小火にて事濟みたり

●アメーバ赤痢　二月十六日京城北部鈞里洞十統八戸洪方同居學生金元照は『アメーバ』と云ふ赤痢病に罹り十六日朝鮮總督府醫院に入院したり

●兼古商店の自祝　龍山兼古酒店にては開業八週年を祝する爲め二月十五日より向ふ三十日間卸小賣共大割引にて賣出し開始尚ほ其上に現金五十錢以上の買物に對しては景品も添へる由

日曜集會（十八日）

▲メソヂスト教會（旭町二丁目）午前十時より日曜學校同十一時より木原部長司祭の下に聖餐式あり午後七時半より藤岡牧師の傳道說教ありと

▲日本基督教會（旭町四丁目）午前九時半より日曜學校同十時半より井口牧師の禮拜說教『信仰の勝利』あり午後七時半より同牧師の傳道說教『教育家としての耶蘇』ありと

▲臨濟寺微笑會（初音町二丁目）午前十時より碧岩集例會提唱あり

▲京城基督教會（南大門內相生町）京城基督教會にては本日午前十一時より浪汝牧師の禮拜說教『備へられたるものは與へらるべし』同午後七時半より傳道說教『天國論』あり來聽隨意

●演藝だより

▲浪花館　圓若一行に代りて十八日より看板を揭げるはお馴染の新講談師東操一行なりと云ふ

▲壽座　十八、十九日の兩日も例の京城券、中券の藝妓義太夫

▲歌舞伎座　十八、十九兩日の代りは前『水戸黃門記の續』切は十八日『山鹿送り』十九日は『武林唯七』なりと

▲佐久良座　中村榮一座の新派劇十八十九兩日の藝題は『毒婦三ケ月お六』

桃山だより

春とは名のみにて未だ殘んの雪は時ならぬ花を木々の梢に咲かし風寒く吹く夜を一人火鉢に凭れて『ツルさんは今頃は何所にどうしてムるやら』と思案に餘つて焦れて居るのは踊鬼樓の鞆助▲此妓は仁川にて去る者ありと知られたる冲津戸十郎が經にして本名を梅子と云ひ當年取つて十九の花盛り▲ーー此頃はなんて間が惡いんでしようと此寒空に病院の一室に無限の恨を呑んで儘ならぬ浮世を喞つてるのは二見樓の羽衣組さん鐵道官舍の吉田さんが心配しての法印斷ち茶斷ち鯨鐺立ち御愁傷樣の影んと師▲酒なくて何のたのれが櫻哉と來る客毎に『チー旦那三四本位は可でしよう』と獨で定めるは和歌の浦樓の米福和歌の浦姉さん、瓦斯會社の〇〇さんに知れると叱られますよ▲松島樓の松島は人の顏さへ見ると『私浮世が厭になつた』と口癖の如に申す原因は二世も三世もと云ひ交はした好きな殿御が故鄕に歸つたからなり『私好男子の客でなくては嫌よ』と怪氣焔を吐くのは元長谷川町の東家に居たチョコマン一富士の光子と云ふ古猫に候▲何時も惠比須顏の福々なのは紀の國家の尾車裾にてた客を捉へては『貴郎や不景氣の風つて何んな色をしてますのですかよー』（桃山雀）

藝妓の性相と運命（四）

天象子觀識

目下京城ホテル別館（梅翠樓前）に於て一般運命鑑定中なる天象子に忙中の閑を割いて標題の如な事を囑して快諾を得た、何しろ忙がしい中での鑑定執筆だから毎日と云ふ譯には行くまいが兎に角讀物として當人の心得として面白い事と思ふ。（一記者）

八景園政彌

だ前さんは寫眞で見ると仲々美人だねうね、男をさ、ひよつとしたら坊さんの積りでゐる私だつて迷ふかも知れない、スタイルも仲々異だ、併し其のスタイルの異なのは性相上何の價値もない、

性相上價値があり趣味があるのは顏だ、其の眼其の眉其の鼻、其の口、**口の下のアゴの邊**さ。こゝが取りも直さず夫れ其の趣味あり價値ある所だ、男が迷ふのは先づ眼=眼に迷ふといふのは忙しいが其の**眼は一種の魔力**を持つて居る、引力を持つてゐる、其の眼が男に接した刹那又侍べつた場合、モ少し露骨に云ふと紅閨中で多く物を言ふ、如何な六尺男の大兵も魅される、而して其の口と口の下の顋の附近で以て男は愈よトロリと參る、而かも夢現の境に入る、況んや喃々たる情話蜜の如きものがあるから堪らない男が迷ふのも但しは泣くのも其邊にある、アゴで**男が泣いたり迷つたり**すると云ふのは受取れないやうだが左樣なつてるから仕方がない、所が其の顎で男が迷つたり泣いたりするのがだ前さんの**長所で又欠點**である、魔力ある眼とムッチリした顋とは例の顋と相待つて時としては人も羨むほどの幸運を持つても自分の慾に遣ひ華やかな境遇に起臥することゝなら隨分思ひ切つた事もなるが一面悲慘な活劇を演ずることにもなる、**ア、悲慘な活劇**

だ前さんは生涯の中には是非是れに注意を拂はねばならぬ。偖て此の悲慘な大凶運は何から生ずるかと云ふに、前に謂つた眼と口と顋から生ずるのである、斯う言つてもチト解り難いだらうが、試みに人靜にして枕頭の闇燈暗き時、目を瞑つて自ら考へて見給ね、必ず思ひ半ばに過ぎることがあるだらう、だ前さんは決して女の節操を保てる人でない、成程商賣人の内は誰だつて節操を守るものはあるまい、又守れるものではなからう、が併しだ前さんのは其れとは別だ、一寸岡惚した男か何かと情話やでもやらかす爲めなら怎な**義理有る男にでも愛想盡**かしを言つたり**振飛**したり捨てゝ了つて顧みないやうなこともある、咎し亭主渡つても屁とも思はぬい悲慘な活劇**大凶運の源因**になる、今の運勢は餘り宜しくないい成るべく早く嫁いて此の**危險を免**るゝやうに注意するのが肝心だだ前さんのは餘り宜しくない方がよろしい。

●諸公債株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業
既製洋服卸小賣
諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店
電話九九三

▲通信販賣▼
一 營業の手紙で百般の買物を滿足に遂達する御は弊店の通信販賣に限り
何品にても不拘御注文の節は必ず先づ弊店に御申越被下度候
店地方に係る御注文に就き御注文の品は小包にて御送付可申候
營業品以外の物にしても御取次可申候
御便宜に御注文の節は可成前金又は振替貯金に
御注文に御送り被下度候
前金御送込の方には代金引換小包郵便にて御送附可申上候
御注文は地方係宛御申越可被下候
詳細弊店物價表にあり御報次第進呈

營業概目
△各國時計及附屬品△眼鏡
指輪裝身具類
△貴金屬美術品類△歐米自轉車及附屬品
各種寫眞機及原料△大聲蓄音機及び音譜

直輸御小賣
織居商店
京城本町四丁目
平壤大和町支店
釜山南濱町出張所
地方係
振替口座二二三一
時計部電話三六二
寫眞部電話三二九
本町二丁目自轉車部
電話四八〇番
南大門通三丁目樂器部

▲共通商品券▼
◎贈答品は弊店發行の織居共通券に限る
◎本券は引換地廣く扱店數も多き故普通商品券より多くの優れたる便利あり
本券は左の各扱店に於て引換可申候
又左の扱店中寫眞店で寫眞代代用す
京城織居各部、平壤織居、釜山園田
仁川糸岐、北島、長野、元山山口、德田
大田鹽崎、大邱木村、開城戸田、鎭南浦
井川吉岡、群山神林、木浦田邊、沖永、
安東縣、相良

長崎流
志るこ
茶碗むし
むしすし
南山町二丁目
松その

腦病全治新藥
健腦丸
記憶力惡き人 頭痛する人
神經衰弱にて氣分鬱ぐ人
常に腦神經を勞する人の
必用藥は獨り本劑のみ也
(定價 一日分十錢、三日分廿錢、七日分四十錢、十五日分八十錢、五週分一圓、五週分金三圓)
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房
分店 大阪平野町堺筋北 丹平商會分店
支店 東京日本橋室町 丹平商會支店
▲賣捌は全國有名藥店に取次す

神經をしづめ腦病を全治す
島村醫學博士の有效證明を得たる健腦丸は、神經病、腦病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

健胃下腹丸
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一六八番

優等銘酒
正宗
サマリユナ
釀造元 兵庫縣灘 江井ヶ島酒造株式會社
發賣元 京城南大門通三丁目 百合正宗支店
電話一五一五番

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一六八番

アンチヘブリン
四季のひきかぜ、はやりかぜ、ねつ病一切づつうの良藥
發賣元 京都 川杉資生堂
二噸 金拾五錢 五日分金廿五錢

效能ある溫泉
鐵冷溫泉
旅館並に浴客席貸
京城長谷川町一丁目朝鮮銀行北橫手
廣安喜次郎
電話一四一一番

雛人形陳列會
二月二十日ヨリ
京城
三越吳服店

東宮殿下御成
京城共進會一等金牌
牛乳牛乳
洋種乳牛及朝鮮牛賣買
牛皮牛骨の賣買
入院隨意 京城家畜病院
種豚山羊家禽種卵賣買
多木肥料販賣代理店
京城古市町九番戸
朝鮮畜産株式會社
電話八八番

弦齋流割烹
すし津ね
南山町一丁目
電話千五百二番

商標
京城南大門通二丁目
製造元 遠藤廣吉商店
(電話九八二番)
ヨ味噌

陸軍御用達
諸官衙
御料理用醬油釀造元
味噌醬油
御料理用品並に雜貨卸小賣
京城本町五丁目(電話二百五十一番)
大上友太郎商店
野田醬油
特約店
大日本麥酒株式會社
醬油 酢
の清
甘露醬油
宇治銘茶 和洋酒類
和洋缶詰 乾物穀類
野菜果實
其他日用品一切
諸漬物問屋

電話 月額會費 明治一八一四四
口入業萬年社

齒科診療
京城本町二丁目(三越吳服店向)
野田齒科醫院
仁川仲町三丁目(木永吳服店隣)
野田齒科醫院分院

輕便手濡さず衛生的米洗器
最も德用便利なるテンピ
經濟的有利なる敷島竈
新式流行教育玩具類
智惠比べ秘密貯金箱
堅固美麗なる手提金庫
優美高尙なる傘臺
教育上心要なる礦石標本
仁川新町一丁目西北角
津田兄弟屋
電話七六二番振替口座京城三八九番

齒科治療
本町六丁目(旅をば横町)
ドクトル 女子齒科醫學校出身
中村安子
(電話一五八三)

各種品揃
朝鮮日本音譜 日本音譜
音譜目錄無代進呈
小包にて御送附可仕候
大聲發音器
日本蓄音器商會
朝鮮總代理店
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番 振替口座八七番

本場精撰
茶
銘茶各種新物續々入荷付卸小賣さも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目(海岸通)
田中芳春園
電話四五〇番 振替京城五〇番

綿、吳服界御通信
◎吳服部御紹介
大島式御召新荷着
本場秩父夜具地類品揃
柄行並に品質の撰定は弊店の特色御誂蒲團調進致します
◎綿部御紹介
カード式製綿 吹留、袋真綿全部品揃
滿る月缺ぐるの例に洩れず一時高價の綿類も安價となりました
◎地方部御紹介
御注文品は御來店と同樣御安心遊ばす樣丁寧迅速に御郵送申上ます
京城明治町二丁目
△唐川吳服店
電話二六一番

貸倉庫
場所京城本町一郵便局前
入る御望の方は電話一〇八六番へ

東京流納豆大安賣

御料理向
特製
寶味噌
味噌製造 漬物商
仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

廣告
二月中滊船出帆
天草丸 二月十日 前三時
成吉丸 二月十九日 前三時
三浦丸 二月二十日 前八時
海津丸 二月二十一日 前一時
三大島丸 二月二十日
薩島行 海州行 海州行 申串行 大湖芝行
合資會社 秋田商會船舶部
仁川本町四丁目 電話一七三番
仁川本町一丁目 電話七五〇番
荷客取扱所
秋田商會船舶荷扱
仁川本町海岸通 電話四一九番
柴田回漕店
仁川本町四丁目 電話五二二番
山本回漕店